

第25回白馬村地域公共交通会議

日時：令和2年（2020年）11月25日（水）13：30～

場所：白馬村役場

**令和2年度
ナイトシャトルバス運行計画（案）**

令和2年11月
白馬村

令和2年度ナイトシャトルバス運行計画（案） 目次

I. 白馬村地域公共交通・観光交通システム検討委員会の開催	1
II. 運行計画（案）	5
III. 運行内容の比較	6
IV. 利用促進計画（案）	7
V. 運行収支計画（案）	8

I. 白馬村地域公共交通・観光交通システム検討委員会の開催

1. 設置目的

白馬村地域公共交通会議において協議する事項のうち、運行計画に関する調査検討を行う。

2. 掌握事項

白馬村が実施する住民輸送サービス等の運行計画の策定について検討し、その結果を白馬村地域公共交通会議に報告する。

3. 委員構成（18名以内）

白馬村地域公共交通・観光交通システム検討委員会 委員名簿

◎委員長

選出区分	所属・職名	氏名
住民代表	白馬村地域公共交通会議委員（一般公募）	鈴木 均
住民代表	白馬村地域公共交通会議委員（一般公募）	田代 雅子
住民代表	八方尾根観光協会長	丸山 徹也
住民代表	和田野区長	大橋 正明
住民代表	エコーランド区長	飯森 勇人
住民代表	白馬五竜観光協会事務局	佐藤 文生
住民代表	岩岳観光協会副会長	中村 堅
事業者	アルピコ交通株式会社白馬営業所長	工藤 秀行
事業者	有限会社白馬交通代表取締役	遠藤 孝
観光団体	（一社）白馬村観光局事務局長	福島洋次郎
観光団体	（一社）白馬村観光局インバウンド専門委員会委員長	ケビン・モラード
観光団体	（和田野）白馬ツーリズム代表	塩島 眞一
行政機関	白馬村観光課長	◎ 太田 雄介

4. 会議の開催

（1）令和2年度第1回白馬村地域公共交通・観光交通システム検討委員会

日時：令和2年5月13日（水）

場所：書面会議

出席者：全員

内容：①令和元年度2019-20シーズン・ナイトシャトルバス元気号の運行実績について

②令和2年度2020-21シーズン・ナイトシャトルバスの運行に関する意見交換

会議報告

①令和元年度2019-20シーズン・ナイトシャトルバス元気号の運行実績について

運行状況及び実績について白馬村より資料報告。

- ・利用者数は11,846人（前年比1,429人減、▲10.8%）となった。外国人観光客の滞在期間が長期化していること等を考慮し、前年に引続き3月第1週日曜日まで79日間運行した
- ・利用者数減少の主な要因としては、暖冬・雪不足と新型コロナウイルス感染症の影響により外国人

観光客の利用者が減少したことがあげられる

- ・乗車人数のうち外国人の占める割合は、全体の96.25%となった
- ・外国人滞在エリアと村内中心部を往復運行する路線と比較すると、利用者が少ないことが課題とされているスキー場エリア（五竜、岩岳路線）については、全体に占める利用率は前年比やや減少しているものの、村内二次交通路線として定着してきている

②令和2年度2020-21シーズン・ナイトシャトルバスの運行に関する意見交換

白馬村より運行方針(案)の考え方とナイトシャトルバスのネーミングについて提案し、委員からの意見を求めた。

【決定事項】

○ナイトシャトルバスのネーミング

- ・今年度の運行から「元気号」を削除し、HAKUBA シャトルとする

○運行方針

- ・路線及び時間帯の基本的体系については前年度を踏襲するが、新型コロナウイルスの影響によるインバウンド需要を踏まえて運行日数、便数の削減について、第2回会議において調整する
- ・個々のバス停の時刻表表示については、わかりやすい表記の検討を行う

(2) 令和2年度第2回白馬村地域公共交通・観光交通システム検討委員会

日 時：令和2年10月21日（水）15：00～

場 所：白馬村役場2階 201・202 会議室

出席者：11名

内 容：①令和2年度2020-21シーズン・ナイトシャトルバス運行計画(案)について
会議報告

①令和2年度2020-21シーズン・ナイトシャトルバス運行計画(案)について

白馬村より、コロナ禍によりインバウンド需要が見込めない中で、今シーズンの滞在環境にマッチする運行方針策定のための意見を求めた

【まとめ】

- ・「観光公共交通の位置付けから、運行を中断することなく継続して運行することは当然」、「運行期間の削減と減便対応は考慮しつつ、村で運行計画(案)を詰める」との意見で一致
- ・上記意見を踏まえて白馬村は事業者と運行計画(案)を詰めて、書面で委員へ諮ることとした

(3) 令和2年度第3回白馬村地域公共交通・観光交通システム検討委員会

日 時：令和2年11月4日（水）

場 所：書面協議

出席者：全員

内 容：①令和2年度2020-21シーズン・ナイトシャトルバス運行計画(案)について
会議報告

①令和2年度2020-21シーズン・ナイトシャトルバス運行計画(案)について

白馬村より策定した運行計画(案)を提示し意見を求めた。

【決定事項】

・ 特段意見はなく、提示した運行計画(案)を決定した

※路線図、時刻表の(案)の詳細は別添のとおり

・ 主な体系は以下のとおり

1 運行路線と便数

(1) レッドライン (和田野～みそら野間・往復路線)：3.5 便/日

(2) ブルーライン (岩岳～みそら野・八方・白馬町経由・循環路線)：3 便/日

(3) グリーンライン (五竜～白馬町・八方経由～エコーランド間・往復路線)：3 便/日

・ 八方インフォメーション、白馬ベースキャンプのバス停をハブ化し、全便が乗り入れ

2 料金体系

・ 1日乗車券扱い：500 円 (回数券は廃止)

3 運行時刻

・ 17：30～22：00 までの間

4 運行期間と台数

(1) レッドライン：12 月 19 日～2 月 28 日までの毎日と、3 月 5 日～3 月 20 日までの毎週 (金)、(土)、祝前日 (計 78 日間/1 日 1 台)

(2) ブルー及びグリーンライン【共通】：12 月 19 日～1 月 31 日までの毎日と、2 月 5 日～3 月 20 日までの毎週 (金)、(土)、祝前日 (計 60 日間/1 日 1 台)

Ⅱ. 運行計画（案）

1. 運行目的

項目	運行計画の策定方針
(1) 運行目的	居住・宿泊エリアと飲食店・商業施設を結ぶシャトルバス運行事業を実施することで、住民及び観光客の消費行動の促進を図り、もって地域経済の活性化に寄与することを目的とする。なお、運行計画の策定にあたっては、指摘事項を改善するとともに効率性を重視しながら、利用者の快適性と利便性の向上を図ることとする。

2. 運行方法

項目	運行計画の策定方針
(1) 事業主体	白馬村
(2) 運行主体	一般乗合旅客自動車運送事業者
(3) 運行方法	居住・宿泊エリアと飲食店、商業施設、公共施設及び駅等交通機関を結ぶ定時定路線型のバスを運行する。

3. サービスレベル

項目	運行計画の策定方針
(1) 利用対象者	住民及び観光客を対象とする。
(2) 運行ルート	<p>■レッドライン（主な経山地） 咲花ゲレンデ 入口（始点）～ラ・ネージュ～岳都～白馬東急ホテル～樺の木ホテル～八方ゴンドラ～シオル白馬前～八方アルプス広場～白馬八方バスターミナル～瑞穂交差点～呑者屋～白馬ベースキャンプ～エコーランド ロタリー～チェリパブ～セブンイレブンみそら野（終点）</p> <p>■ブルーライン（主な経由地） 岩岳ゴンドラ前（始点）～切久保公民館～庄屋まるはち～セブンイレブン白馬岩岳～デリシア前～JR 白馬駅～ききょう屋～ザ・ビッグ 白馬店～桂花～セブンイレブンみそら野～チェリパブ～エコーランド ロタリー～白馬ベースキャンプ～呑者屋～瑞穂交差点～白馬八方バスターミナル～ランドステーション白馬～JR 白馬駅～デリシア前～セブンイレブン白馬岩岳～庄屋まるはち～切久保公民館～岩岳ゴンドラ前（終点）</p> <p>■グリーンライン（主な経由地） 飯森ゲレンデ 下（始点）～エスカプラザ～クック前～白馬の森～JR 神城駅～桂花～ザ・ビッグ 白馬店～ききょう屋～JR 白馬駅～ランドステーション白馬～白馬八方バスターミナル～瑞穂交差点～呑者屋～白馬ベースキャンプ（終点）</p>
(3) 運行期間	<p>■レッドライン 令和2年12月19日（土）～令和2年2月28日（日）までの毎日、3月5日（金）～3月20日（土）までの毎週（金）、（土）、祝前日の79日間</p> <p>■ブルー、グリーンライン【共通】 令和2年12月19日（土）～令和3年1月31日（日）までの毎日、2月5日（金）～3月20日（土）までの毎週（金）、（土）、祝前日の60日間</p>
(4) 運行便数	■レッドライン：3.5便、■ブルーライン：3便、■グリーンライン：3便

(5) 運行時間	■レッドライン、ブルーライン、グリーンライン：17:30～21:57
(6) 利用方法	■レッドライン、ブルーライン、グリーンライン 現金による支払で乗車する方法

4. 運賃の設定

項目	運行計画の策定方針
(1) 運賃	■レッドライン、ブルーライン、グリーンライン 500円（大人・小児一律1日）、小学生未満無料

5. 車両・設備

項目	運行計画の策定方針
(1) 車両数	常備車両：3台、予備車両：2台
(2) 車両の仕様	小型のバス（中型自動車マイクロバス）
(3) 車両の装飾	マグネットシート：大1枚・小1枚×両サイド×4台分 電光板：1枚×4台分

Ⅲ. 運行内容の比較

項目	2019-20（令和元年度）	2020-21（令和2年度）	変更点
運行期間	R1. 12. 21-R2. 3. 8（79日間）	R2. 12. 19-R2. 3. 20	・路線により60～79日
停留所	アバスタ八方ほか31停留所	咲花ゲレンデほか30停留所	・アバスタ八方削減 ・白馬飯店をランドステーション白馬へ移設
運行時間	レッドライン① 17:50-22:29 4便 レッドライン② 17:40-21:19 4便	レッドライン 17:30-21:57 3.5便	・1路線の往復運行へ変更
運行便数	ブルーライン 17:30-22:04 3便 グリーンライン 17:30-22:49 3便	ブルーライン 17:30-21:43 3便 グリーンライン 17:28-21:43 3便	・便数変更なし ・便数変更なし
利用料	300円（大人・小児一律1回） 未就学児童（6歳未満）無料	500円（大人・小児一律1日） 未就学児童（6歳未満）無料	・1回乗車券から1日乗車券へ ・200円の増額
回数券	1,000円（4枚綴り）	取り扱いなし	・廃止
利用方法	現金乗車方法及び回数券購入乗車方法の併用	現金乗車方法	・回数券購入の廃止
車両装飾	マグネットシート：大2枚、小2枚、 電光板：4枚	マグネットシート：大2枚、小2枚、 電光板：4枚	・変更なし
その他	・チラシ及び停留所看板に村内タクシー会社の社名及び電話番号を表記	・チラシ及び停留所看板に村内タクシー会社の社名及び電話番号を表記	・変更なし

IV. 利用促進計画（案）

1. エリア内での情報発信

- (1) チラシによる周知
- (2) ホームページにおける周知
- (3) 旅行会社への情報提供
- (4) 新聞折り込みによる周知
- (5) ケーブルテレビによる周知

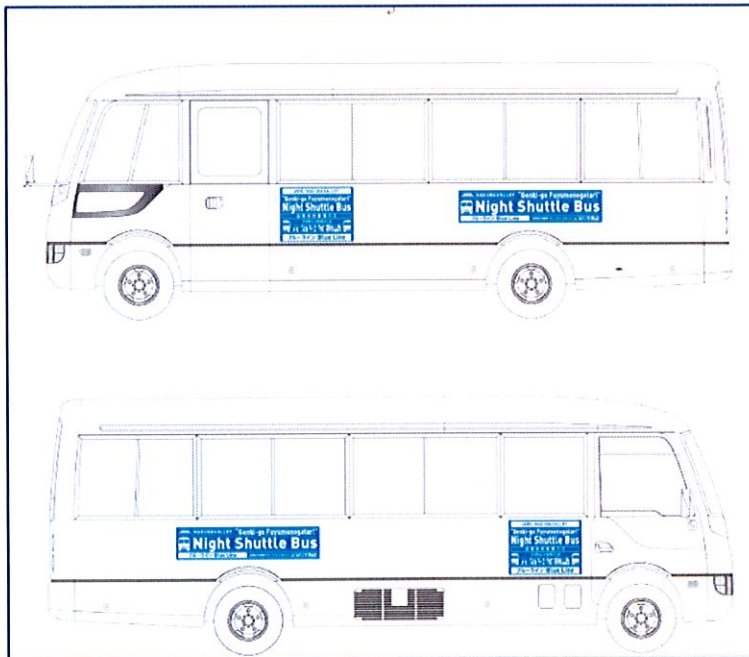
2. エリア外への情報発信

- (1) 県内メディアへのプレスリリース
- (2) 長野県観光情報センターにおける定例記者会見及びメディアへのプレスリリース

3. その他

- (1) ウィンターシーズンイベントにおける周知
- (2) 村内関係団体及び事業者等への情報の提供と発信依頼

＜参考＞ バス装飾のイメージ



V. ナイトシャトルバス運行収支計画(案)

【支出】

(単位:円)

区分	令和元年度 (前年度実績)	令和2年度 (計画)	比較増減	摘要
1.バス運行経費	14,599,200	9,147,600	△ 5,451,600	
2.時刻表チラシ等制作費	423,500	570,000	146,500	・ポケットダブルチラシ(20,000枚)
3.バス停看板制作費	146,300	200,000	53,700	・時刻表データ、パネル、バス停番号シール
合計	15,169,000	9,917,600	△ 5,251,400	

【収入】

(単位:円)

区分	令和元年度 (前年度実績)	令和2年度 (計画)	比較増減	摘要
<u>利用者数(人)</u>	<u>11,846</u>	<u>5,000</u>	<u>△ 6,846</u>	
1.運賃収入	3,553,800	2,500,000	△ 1,053,800	・1日乗車券500円
2.その他収入	0	0	0	
合計	3,553,800	2,500,000	△ 1,053,800	

【差引収支差額】

(単位:円)

区分	平成30年度 (前年度実績)	令和元年度 (計画)	比較増減	摘要
1.支出	15,169,000	9,917,600	△ 5,251,400	
2.収入	3,553,800	2,500,000	△ 1,053,800	
差引差額(支出-収入)	11,615,200	7,417,600	△ 4,197,600	